

ホタテガイ養殖管理情報

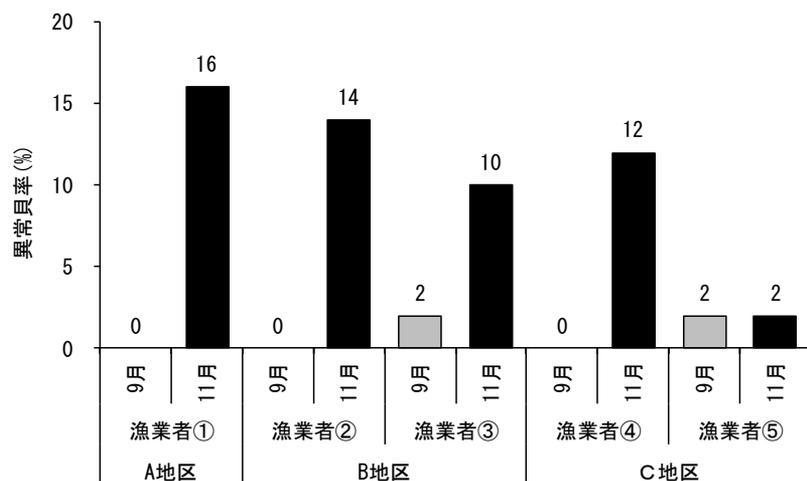
異常貝が増加するので早めの分散作業を

1 海況

10月14日時点の陸奥湾の中層(10~15m層)の日平均水温は20℃前後になっています。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおり(下記URL、QRコード)をご覧ください。

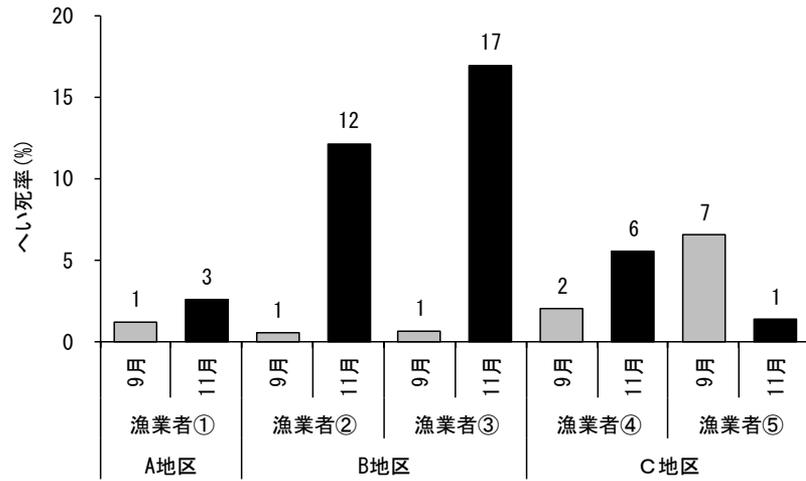
2 稚貝分散作業時の注意点

- 分散が遅れると、①異常貝増加(図1)によるへい死(図2)につながること、②成長不良の小さい貝の増加による冬季へい死につながることから、早めに作業を進めてください。
- 収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。
- 1段当りの収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数(1段当り10~20枚)を心がけて作業してください。
- 稚貝は乾燥にも弱いので、手早く作業を行いましょう。
- 潮流による貝同士のぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために施設を浮かせずぎないようにしましょう。



地区、漁業者番号、分散時期

図1 平成29年9月、11月における稚貝分散時の異常貝率



地区、漁業者番号、分散時期

図2 平成30年3月における分散時期別の半成貝のへい死率

3 来年の稚貝採取に向けて

10月2~14日に湾内6地点で中段1段の稚貝採取時期が異なる未分散稚貝の成育状況を調査しました。

早期(8月5日前)と晚期(8月13日以降)に採取した稚貝(表1)の平均殻長はそれぞれ26.1mm、19.8mmと晚期に採取した稚貝が小さいサイズとなっています。また、直後のへい死率はそれぞれ0.8%、15.0%、成長後のへい死率はそれぞれ0.5%、9.5%と晚期に採取した稚貝が高い値になっているので、早く稚貝採取することが重要です。

表1 早期(8月5日前)または晚期(8月13日以降)に採取した未分散稚貝の成育状況

※成長後のへい死率

調査場所	稚貝採取月日	調査月日	幹綱水深(m)	稚貝採取時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数(枚)	直後死貝数(枚)	成長後死貝数(枚)	へい死率※(%)	異常貝率(%)	平均殻長(mm)
A(西湾)	7月20日	10月12日	15	2.0	1.5	鉛75匁	204	5	1	0.5	0.0	24.7
B(東湾)	7月31日	10月7日	9	2.2	2.0	鉛75匁	94	0	1	1.1	4.0	28.1
C(東湾)	8月5日	10月4日	15	1.5	2.0	太枠	203	0	0	0.0	0.0	25.5
早期稚貝採取平均							167	2	1	0.5	1.3	26.1
D(西湾)	8月13日	10月14日	14	2.0	2.0	太枠	105	38	22	13.3	0.0	23.1
E(東湾)	8月19日	10月2日	20	2.4	1.8	鉛70匁	286	5	1	0.3	0.0	18.1
F(西湾)	8月31日	10月7日	10	2.5	2.0	鉛100匁	105	34	24	14.7	2.0	18.3
晚期稚貝採取平均							196	26	16	9.5	0.7	19.8



①



②